いきいき はにゅう シルバーだより

公益社団法人 羽生市シルバー人材センター
〒348-0053　埼玉県羽生市南 5 丁目 19-5
電話 048(563)3680　FAX. 048(563)3616
E-mail　hanyuu@sjc.ne.jp
企画・編集　広報委員会

センターの基本理念
自主 自立 共働 共助

本号の主な内容

2面　第５回理事会報告
地区班長制度を廃止
事務局からお知らせ
新入会員紹介、職員人事 他
3面　接遇力アップ研修会 再び
植木班リーダー会議
「非正規就業」で重傷事故
4面　ひまわり倶楽部の活動紹介
シルバー祭り「作品展」より

認知症予防講演会を開催

センターは例年3月、会員に向け、「健康講座」を開催、病気の予防やその注意点などを専門医に講演いただいております。

本年は、数年後に 65 歳以上の高齢者の約５人に１人が罹病し、その患者数が全国で 700 万人前後に達すると見られる「認知症」について、埼玉医科大学精神腫瘍科教授・大西秀樹先生より「認知症にならないための日常生活」と題する公開講演会（羽生市後援）を３月 20 日 12 時半から、羽生市産業文化ホール・小ホールにて開催いたしました。

会場には会員や市民の皆さん、加須市SCの役職員、蓮田市SC女性会の皆さん合わせて 220 名が来場。関心深いテーマの講演を最後まで熱心に聞き入りました。

様々な臨床事例をスクリーンで紹介、講師の埼玉医科大･大西教授（円内）

講演に先立つ「開会セレモニー」では、河田羽生市長（当センター顧問）＝写真㊤よりご挨拶を頂戴し、次いで当センター渡邉理事長がご挨拶しました。

次に、舞台に登場したのは当センター「ひまわり倶楽部」18 名と蓮田市SC「女性会」5名の皆さん。シルバー人材センターやクラブ会員の紹介などを行い、盛大な拍手を浴びました。

▼３・４面＝ひまわり倶楽部関連記事

来場者 220 名は講演を熱心に最後まで聴講しました　＝飯田理事撮影（本紙１面の写真全て）

大西先生は講演で、脳の断層写真をスクリーンに映し出し、認知症患者と健常者との違いやアルツハイマー型認知症の特徴などを豊富な臨床事例と共に解説。また、認知症を防ぐ６つのチェック項目を掲げ、糖尿や高血圧、肥満、運動不足、喫煙、心理的苦悩などは認知症の危険因子であると注意を促しました。

終盤の質問にも解りやすく答えられ、2時間に及ぶ講演を締め括りました。

なお、この講演会の司会・進行は事務局勝間主任が務め、閉会の辞を町田副理事長、五月女局長が講師と来場者の皆さんへ謝辞を述べ、午後４時、講演会は盛況裡に閉幕しました。

五月女局長と勝間主任（右）

定時総会にご出席ください！

当シルバー人材センター「平成 31 年度定時総会」の日程等が決定しました。会員の皆様には万障繰り合わせの上、ご出席をお願いします。

記

◇日　時　令和元年６月27日（木）
午後１時 30 分より
◇場　所　ワークヒルズ羽生 大会議室
◇議　事　平成 30 年度事業報告
平成 30 年度収支決算
監査報告、他
◇報　告　平成 31 年度事業計画
平成 31 年度収支予算、他

理事会報告

第5回 理事会　平成31年3月14日　女性センター研修室

■議　事

▽議案第17号
会員の入会の承認について（平成30年12月1日～31年2月28日）

▽議案第18号
代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

▽議案第19号
職員の給与に関する規程の一部改正について

▽議案第20号
地区班規約の廃止について

▽議案第21号
平成31年度事業計画について

▽議案第22号
平成31年度収支予算について

▽議案第23号
平成31年度定時総会の日時及び場所等について

■報告事項

①平成30年度収支補正予算について

■その他

今後の日程について

議案解説

地区班規約の廃止　**本年4月より実施**

「地区班規約」は平成24年、地区内会員の連携・親睦を目的に制定・施行された。21班に編成され、地区班長の任期は2年。班長の主な任務は所属会員にセンター・事務局が発行する文書類を配布することで、かつては年会費の徴収なども行っていた。近年は、班長を引き受ける会員が少なく、長期在任を余儀なくされた班長も存在した。

理事会は今般、当該廃止案を承認した。新年度（本年4月）より実施され、文書類の会員あて配布は郵便や宅配業者を利用、その年間経費は従来の班長手当総額とほぼ同額を見込んでいる。

事務局からお知らせ

■新入会員のご紹介

今般、理事会の承認を受け、新たに入会された14名の皆さんです。よろしくお願いいたします。

（平成30年12月1日～31年2月28日）

吉田　幾代　さん（南）
佐々木行夫　さん（東）
島田　芳男　さん（上川俣）
山下　幸子　さん（南）
小倉　幸子　さん（上岩瀬）
森田　吉信　さん（上川俣）
田村　容子　さん（弥勒）
唐木　立美　さん（東）
田沼　秀男　さん（上岩瀬）
津久井光三　さん（今泉）
上田　敏夫　さん（西）
福田とよの　さん（上新郷）
松本美智子　さん（東）
薊　妙子　さん（中央）

センター職員人事

4月1日付
業務係長（主査）　齋藤　哲也

【採　用】　4月1日付
正職員　鎌田　瑠奈

3月1日付
臨時職員〈派遣開拓員〉　小林　聖司

【退　職】　3月31日付
臨時職員　鈴木　陽美
同　嶺村　弥生

お世話になりました

センター職員として、就業日報集計やデータ入力、電話・窓口対応、イベント開催の準備・実行など、会員サポートの一翼を担って活躍された鈴木陽美さんと嶺村弥生さんのお二人が3月末、任期満了となり揃って退職しました。

勤務最終日の3月29日午後、お二人は「皆様に大変お世話になり、ありがとうございました」と述べ、職員らが見送るなか、事務所を後にしました。

よろしくお願いいたします

当センターに正職員が11年ぶりに誕生しました。新入社員はこの春、高校を卒業した鎌田瑠奈（るな）さん。

鎌田さんは平成生まれ、明るく世話好きな性格の持ち主。彼女の入社により事務局正職員の平均年齢は4歳ほど若返り、年齢構成の不均衡も是正されました。

【鎌田さんご挨拶】

これから、皆様にお世話になります。よろしくご指導下さいますようお願い致します。

GW期間中、事務所はお休みです

5月1日に天皇即位の礼が行われ、改元となる今年のGWは、**4月27日**（土）～**5月6日**（月）の連続10日間。この期間、事務所は「休業」します。

事故・災害にご注意を！

該期間中の就業者は事故や災害に遭うことのないよう充分ご注意ください。

なお、4月度就業報告書は5月7日以降のなるべく早い時期に提出をお願いします。

「年会費」納入のお願い

平成31年度年会費3600円のお支払いをお願いします。会費は約95％を「団体障害保険金」に、残額は通信費に充てさせていただいております。

なお、お支払いは、後日、郵送にてお届け予定の「**振り込み用紙**」（送料・手数料無料）で、お近くのコンビニより送金、または事務所来所にてお願いします。お支払い期限は6月末日です

配分金の支払い予定日

月	日（曜日）
4	19（金）
5	21（火）
6	21（金）
7	19（金）
8	21（水）

接遇力向上研修会を再度開催

受講会員総数は210名超　前回と合わせ

2月23日（土）、ワークヒルズ羽生にて「接遇力向上研修会」を開催しました。既に11月30日（金）にも開催し、今回が2回目。前回、就業等のため欠席した会員に向けて再開催したものです。

出席会員は講師・アップグロース代表宮澤先生の説明に最後まで熱心に耳を傾け、メモをとりました。受講会員数は、前回と合わせ210名を超えました。

会場が満席となる90余名の会員が参加し２時間の講習を最後まで熱心に受講。前回に続き、今回も「接遇力ＵＰ研修会」は大好評でした。

好評の研修会　アンケート調査結果

今回の研修会は、終了時に行ったアンケート調査（事務局まとめ）によると、回答者の75％が「内容をよく理解できた」「（将来に）役立つ内容だった」「先生の説明がとても分かりやすかった」などと、大変好評でした。

植木班リーダー会議

新年度に備えて

2月22日、午後4時より事務所会議室において「植木剪定班リーダー会議」が開かれ、新年度となる平成31年度の班体制（昇級認定）や就業計画の見通しなどについて約1時間半かけて協議、事務局からは、本年2月に発生した「非正規就業」における作業者が梯子から落下した重傷事故の報告や作業安全徹底の要請がありました。

会議には、植木剪定班の班長6名全員と、事務局からは小野主幹、斎藤主査が出席しました。

新年度を前に決意もあらたに。植木剪定班リーダーの皆さん。（左から）佐藤・川田・入江・飯田・近藤・若林の各班長

ひまわり倶楽部が「あぷろく」に登場

いきいき埼玉発行の季刊誌「あぷろく・春号」“センタートピックス”にひまわり倶楽部の活動ぶりが写真付きで紹介されました。昨年末の同誌・冬号では、就業先で奮闘する2名の派遣会員が紹介され（既報）、当センター会員は同誌に連続登場しました。

当該号は事務所内で閲覧できます。

センタートピックス　公益社団法人 羽生市シルバー人材センター

楽しい集いで広がる輪
女性会員サークル「ひまわり倶楽部」

女性会員のサークル「ひまわり倶楽部」は、平成29年11月に誕生しました。

当センターの女性会員の比率は、全体の1／3弱。長い間、100人前後で推移してきました。

「ひまわり倶楽部」設立の目的は、女性会員同士の親睦と連帯、活動を通して女性の入会促進を図り、幅広い高齢社会のニーズに応えて地域に貢献することです。

「ひまわり倶楽部」は現在、自主的に2か月に1回のペースで会合を開いています。初会合の「お茶会」（顔合わせ）では、会の名称を「ひまわり倶楽部」と名付け、以後「プレスレットづくり」や3月末の「お花見」、「ヨガ教室」、「藍染め体験」、7月の「ビアガーデン」、12月には「クリスマス会」などを計画しています。

会員数は当初に比べ一割ほど増え、就業やボランティアなどを通じ地域への貢献度合いを深めています。

倶楽部の今後について、リーダーの関口さんと白石さんは「人と人との交流は大切なこと。“心豊かで夢と希望のある楽しい人生”を目指したい」と抱負を語りました。

非正規就業で重傷事故

落下・転倒に注意　慎重行動を

2月中旬、日野手地区内で枝おろし作業をしていたAさんが樹木の幹に架けた梯子から足を踏み外し、道路上に転落。救急隊員が手配したドクターヘリで埼玉医科大病院（川越市）に運ばれ、3時間を超える頸髄損傷緊急手術を受けました。現在、加須市内の病院でリハビリ入員中です。

事故発生の直後、救急隊員から一報を受けた事務局職員が現場に急行し、確認したところ、当時の作業者3名はいずれもがセンター会員。

前記作業を「私的」に請け負ったB会員が非番のA、C両会員に呼びかけ、この日、客先の敷地内で枝下し作業を行っていたことがわかりました。

センターが介在せずに会員が独自に行う作業はセンターの「非正規就業」です。センターは、この就業態様を推奨しておらず、センターの目的に反する行為や規則違反は会員資格を失うことがあるとしています。

更に、この就業態様にて、万一、事故が発生しても「自己責任」となり、センターが契約する団体傷害保険は適用となりません。常に、より慎重な行動と事故防止の心構えが必要です。

謹んでご冥福をお祈りします

関口　努さん　在会中の3月13日、すい臓がんのため死去、65才。関口さんは平成25年センター入会。主に民間盆栽園で水遣り作業に就く傍ら、広報委員を務める。また平成27年の第4回シルバー祭りでは、目玉イベントの一つ「ポニーと撮影」を担当、ペットの愛馬「まんじろう号」を三田ヶ谷の自宅より会場前庭に運び入れ、お子さんや親御さんらを大いに楽しませました。

まわり倶楽部の活動紹介

今回は連載の「就業先訪問」をお休みさせていただき、「ひまわり倶楽部」の最近の活動をご紹介します。

認知症予防講演会にて　3月20日

講演会に先立つ開会セレモニーで、ひまわり倶楽部の18名が蓮田市SC女性会の皆さんと壇上に揃い、センター事業などをPRしました。

お揃いのシルボンヌスカーフを首に、センター事業などをＰＲ＝羽生市産業文化ホール、飯田理事撮影

お花見会　3月28日

満開を期待した葛西用水堤の桜花は二分咲き。だが、傍らに「団子」あり。会員はおにぎりや豚汁、ノンアル飲料などでお腹を満たし、大満足。よく食べ、おしゃべりと、口は全開。会は盛り上がり、1時間半におよぶ熱気は開花を大いに促進させたとか。＝写真㊦

コバルトブルーの空、開花を始めた桜の下で。全員集合！＝小西定満会員撮影

ゴルフコンペ　開催のお知らせ

お待ちかね、ゴルフコンペを左記にて開催します。奮ってご参加ください。

記

▽開催日　令和元年5月9日
▽場　所　足利CC　多幸コース
▽参加費　7千円（プレー費・昼食・他。年齢割引あり、証明書要）
▽申し込み　4月26日まで　事務局あて
※人員が確定次第、参加会員に詳細をお知らせします。

7thシルバーまつり　出展作品⑤

昨年2月の第7回目シルバー祭り「作品展」。会場に多数並んだ作品の記録画像から、広報委が独断で選んだ作品をご紹介します。

■藍　染　「暖簾（のれん）」　長谷川安子会員

【コメント】蝶が飛び交う様子をイメージ。「染め」の前後は一苦労でしたが、挑戦してよかったと今は満足しています。

■タペストリー（パッチワーク）　柏木八千江会員

【コメント】布で作った「壁掛け」。素材は配色などを考えて浅草で購入します。手縫いで、1か月以上の労作になりました。

本紙をフルカラーでご覧になれます！

ネット接続したパソコンをお持ちの会員は当シルバー人材センターホームページ「活動情報」より「シルバーだより」既刊号（本号含む）をフルカラーでご覧頂くことができます。

投稿をお待ちしています

「シルバーだより」では、皆様から短歌や俳句、川柳、随筆、身近な話題などを募集しています。事務局あてにどしどしお寄せください。なお、投稿時期や内容により掲載号のずれ込み、不掲載の場合があります。

編集後記

▼3月上旬、近所の庭先で桜花を見かけた。早咲き？否、サクランボの木（実桜）であった。観賞用の桜もサクランボの木も同じバラ科サクラ属。なのに、実（み）は片や食用。満開のソメイヨシノを眺め、少々複雑な気分。「花より団子」派は風情なしか？

▼4月初め、事務所職員は、主に植木剪定予約の電話や来客で忙殺も、嬉しい悲鳴。剪定会員や先輩会員らのたゆまざる努力がお客様をリピーター化、信用の証。これからもシニアパワーを発揮、感謝と貢献の精神で。

▼新元号が「令和」と発表された。私たち会員は皆、昭和に生まれ、平成を経て、そして今、新たな時代を迎える。「♪どんなに時代が移ろうと／どんなに世界が変わろうと…」「♪ああ／川の流れのように／ゆるやかに／いくつも時代は過ぎて…」、遠のく昭和もまた蘇る。（M）